

補正予算特別委員会産業建設分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 開催日	平成31年2月28日(木)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則座長、吉田知代副座長、渡辺拓道委員、足立義則委員、國里修久委員、園田依子委員
4. 会議に付した事件	<p>議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)</p> <p>議案第29号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)</p> <p>議案第30号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)</p> <p>議案第34号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第5号)</p> <p>議案第35号 平成30年度篠山市水道事業会計補正予算(第4号)</p>
5. 議事の経過	<p>開会 9:30</p> <p>大上座長 開議宣告</p> <p><b>■日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)</b></p> <p><b>【主な説明】</b></p> <p>まちづくり部より説明</p> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>足立委員 市営住宅管理費に関し、福住団地外壁等改修工事において、500万円程度の減額となっているが、そもそも積算が大きかったのではないかと。</p> <p>まちづくり部 団地を囲む外壁に木塀があるが、当初全て作り直す予定としていた。しかし、実際に現地を施工前に確認したところ、一部の修繕で対応できたことが大きな要因である。入札に関してはほぼ設計額で対応できた。</p> <p>足立委員 その施工内容で地元は了解していたのか。</p> <p>まちづくり部 了解済みである。</p> <p>園田委員 住宅一般事務費に関し、高さ80センチ以上のブロック塀の撤去補助に対し、10件の予算で現在6件の申請があるとのことであったが、どのような内容での申請がされているのか。</p> <p>まちづくり部 申請内容については、城下町周辺の比較的幅員の狭い4m未満の道路に面したものなどがあり、児童・生徒の通学路となっている箇所を対象となっている。申請に基づき基準を精査しながら交付決定を行っている。</p>

園田委員 所在地については、どのような場所か。

まちづくり部 申請箇所は市全域にまたがっており、城下町地区で2件程度ある。他にも大山地区や川北新田地区などでも申請が出ているが、東部地域や今田地区では申請は出していない。

大上座長 都市計画事務費に関し、「歴史的地区環境整備街路推進協議会負担金」の減額があるが、どのような協議会なのか。

まちづくり部 全国の歴史的地区を有する市町から構成されており、兵庫県では兵庫県、神戸市、姫路市、篠山市が加盟している。会長市が事務局を努めている。今年は神戸市であり、講習会や事例紹介、意見交換などを実施している。その加盟に係る負担金である。

### 【主な説明】

まちづくり部より説明

### 【主な質疑】

渡辺委員 市単独事業に関し、農工団地中央地区の市道整備において、農工団地に井戸の水を引き込むと説明があったが、A敷地へ引き込む予定か。

まちづくり部 今回の進出企業については、工業用水を必要としない金属加工業ということで、現在はA敷地へ井戸水を引くことは考えていないと聞いている。

渡辺委員 今回の進出企業はA敷地に予定しているのか。また、B敷地へ井戸水を引き込む予定か。

まちづくり部 現在、当該企業からはA敷地へ進出したいと聞いている。企業において地元交渉が進められており、最終的にどうなるかはわからないが、A敷地への進出ということであれば、A敷地には井戸水を引く必要がないので、B敷地へ引くことになる。

まちづくり部 400トン/日の計画で、水深16.0メートルの位置に企業がポンプを据えて利用することになるので、市がポンプ配管まではしないが、ポンプ配管のための<sup>さやかん</sup>鞆管を道路の下に設置することとなる。

渡辺委員 水中ポンプを設置するということか。

まちづくり部 そのようになる。2インチの水中ポンプを2台設置する設計になっている。

森本議長 国庫補助道路整備事業に関し、国の割当を受けてとの説明であったが、△80,245千円と金額が大きい。計画が無く計上しているとは思えないので、詳しく説明願いたい。

まちづくり部 当初予算の段階で、橋梁の長寿命化に係る設計委託料 6 橋、工事請負費 5 橋の橋梁の修繕工事費を要求していた。ここ数年、国に対しても同額の要求をするものの、補助金の予算配分が少ないために、結果として今年度は 2 橋分の配分しかなく、それ以外の事業費を減額するものである。国に対する要求を 1~2 橋として要求すると 1 橋もできない予算の配分になるので、例年 5~6 橋分の予算を要求し、実際は 1~2 橋となっている。

森本議長 2 橋分が確保できてよかったと解釈してよいか。今年度計画していた橋梁については、今年度の実施でなくても支障はないのか。

まちづくり部 市内約 800 橋の橋梁点検を平成 30 年度で終え、Ⅰ~Ⅳの判定を行い、直ちに修繕を要するⅣ判定の橋梁はなかった。次のⅢ判定の橋梁の修繕に取り組んでいるが、直ちに修繕を要する必要はなく、予算の確保ができ次第行うことで安全上の問題はないと考えている。

森本議長 景観まちづくり刷新モデル事業に関し、事業見込みの結果△21,462 千円の減額ということであるが、減額になった要因について説明願いたい。

まちづくり部 市道城東線の道路工事について要求したものであるが、景観まちづくり刷新モデル事業について国とヒアリングを重ねた結果、車道の舗装工事は最低限の舗装補修との指導を受け、アスファルト舗装表面 1 層分の舗装工事となった。

### 【主な説明】

上下水道部より説明

### 【主な質疑】

渡辺委員 下水道事業特別会計繰出金に関し、繰出金と平準化債について詳しく説明願いたい。

上下水道部 平成 31 年度の 4 条予算で支出する償還金の財源として平準化債を平成 31 年度 3 億円予定して予算の編成を進めていたが、その他の補填財源が不足する見込みとなった。その不足分を財政担当部署と繰入金での出資を協議したが、平成 31 年度予算での繰出しは困難とのことから、平準化債を 1 億円多くし 4 億円として予算を組み、その代わり 2 年間での平準化債発行額を増やさないよう今年度の平準化債を 1 億円減らして、今年度不足する 1 億円を平成 30 年度の一般会計予算からの繰出金により調整することとなったものである。

渡辺委員 繰出金は基準外の繰出しか。

上下水道部 基準外の繰出しとなる。

渡辺委員 平成 30 年度、31 年度の 2 カ年での調整とのことだが、後年度は大丈夫か。

上下水道部 ぎりぎりの予算で余裕はないが、後年度はなんとかやりくりできる見込みである。

渡辺委員 減価償却費は例年金額が変わらないように見受けられるが、減ってきているのではないのか。

上下水道部 資産としては管渠が多くを占めているが、償却期間は 50 年と長期になるため、減額幅は低く大きく変動はしない。

足立委員 繰出金について、繰出基準のルール内か、ルール外か。ルール外の場合、そうなった理由は。

上下水道部 今回は基準外の繰出しである。平成 31 年度の元金償還に充てるための財源には、一般会計からの繰出金、平準化債の発行、減価償却費があるが、不足する見込みのため、平準化債を増額し対応するものである。その代わりに、平準化債の発行額を抑えるため、財政担当部署との協議により平成 30 年度の繰入金で対応してもらうこととなったものである。

足立委員 平成 31 年度は問題ないと認識してよいか。

上下水道部 そのとおりである。

渡辺委員 一般会計の課題があつてこうなったものと思うが、公営企業会計になるから繰出しできないという理由ではないのか。

上下水道部 平成 31 年度予算が財政的に厳しいことからの対応である。

渡辺委員 公営企業会計となると、水道と下水道とで金銭のやり取りは可能となるのか。

上下水道部 人件費の負担については今まで通りである。

渡辺委員 積立金などはどうか。

上下水道部 一時借入金ということでやりとりは可能である。

## ■ 日程第 2 議案第 29 号 平成 30 年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）

### 【主な説明】

上下水道部より説明

### 【主な質疑】

國里委員 公共下水道事業建設費に関し、通報装置設置工事の減額が目立つが、安価な実施方法があつたのか。

上下水道部 次年度に策定を予定する管渠のストックマネジメント計画において、マ

ンホールポンプ場の通報装置更新も対象とできることから、本年度の実施内容を見直し、箇所数を減らしたことによるもので、単価が安価になったわけではない。

渡辺委員 下水道汚泥共同処理事業に関し、減額理由を詳しく説明されたい。

上下水道部 修繕料と汚泥検査料の減額で、修繕料については活性炭の入替費用が入札により減となったためである。

大上座長 臭気測定の結果と、先日説明があったと思う。

上下水道部 臭気測定は活性炭の入替時に行う。基本的には年1回の入替であるが、臭気の悪化を推定して2回分の予算を計上している。本年度は臭気測定の結果が良好だったため1回の交換となり、入替回数の減に伴い、活性炭の交換を1回として減額するものである。

### ■日程第3 議案第30号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)

#### 【主な説明】

上下水道部より説明

#### 【主な質疑】

(なし)

### ■日程第4 議案第35号 平成30年度篠山市水道事業会計補正予算(第4号)

#### 【主な説明】

上下水道部より説明

#### 【主な質疑】

渡辺委員 配給水施設費に関し、工事の管種に違いがあるが、ルールなどはあるのか。

上下水道部 道路の種別や重要度などにより決定している。

### ■日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)

#### 【主な説明】

農業委員会より説明

#### 【主な質疑】

足立委員 農業委員関係費に関し、費用弁償減額に係る研修会の参加状況はどうか。

農業委員会 平成30年7月2日～3日に農業委員及び農地利用最適化推進委員を対象に県外研修を行った。38名中32名が参加し、先進地の取組状況を研修した。

### 【主な説明】

農都創造部より説明

### 【主な質疑】

渡辺委員 農地保全推進事業に関し、機構集積協力金の対象農地として茶畑は含まれるのか。

農都創造部 茶畑も機構集積協力金の対象農地に含まれる。味間奥地区では、過去に水田の担い手を考えるために、人・農地プランを作成された。現在、茶畑も含めて人・農地プランの見直しが行われようとしている。

國里委員 集落営農推進事業に関し、楽農パートナー事業補助金への取組集落がなかった原因は何か。

農都創造部 集落で取組体制等が検討されていたが、受入準備が整わなかったことが原因である。ただし、当該集落では、次年度の事業活用に向けて協議が進められている。

森本議長 集落営農アドバイザーはどのような人がしているのか。また、実績により減額するとの説明があったが、何をもって実績と考えているのか。

農都創造部 集落営農アドバイザーは、神戸大学の木原氏が就任されている。農業者の高齢化や減少という状況の中、集落だけでは課題解決が困難な場合もある。複数の集落が連携し、地区の課題解決を見出すため、アドバイザー派遣制度を設けている。地区の課題を把握するための調査方法など、アドバイザーが地区の会議に出席した状況を実績としている。

足立委員 新規就農者支援事業に関し、3,000千円が減額されているが、就農を断念されたのか。

農都創造部 就農を断念されたのではない。支援を受けるためには、将来の農業経営について、計画を立てる必要がある。現時点では、実現可能な計画ではないため、次年度の事業活用に向けて、相談対応しているところである。

渡辺委員 同事業は45歳という年齢制限があるが、45歳以上の相談はあるのか。また、45歳以上への就農支援対策は考えているのか。

農都創造部 45歳以上の就農相談はある。年齢制限については、50歳まで対象を拡大しようとして国で検討されている。

**■日程第5 議案第34号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第5号）**

森本議長 畑作物共済勘定に関し、大豆共済の被害申告及び支払金額の状況は。  
農都創造部 本年度の被害申告は148筆で、その内訳は、台風による風水害が一番多く96筆、それにかかる病害が17筆あった。獣害については、34筆の被害があった。大豆共済に係る支払額は、8,549,799円で、3月末に支払う。

（休憩 12:05～13:00）

**■日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第9号）**

**【主な説明】**

農都創造部より説明

**【主な質疑】**

園田委員 鳥獣被害対策事業に関し、駆除費減額の内容は。  
農都創造部 捕獲頭数が平成30年度シカ1,011頭、イノシシ496頭で捕獲頭数の減少による減額である。  
園田委員 捕獲数が減少したのは、生息頭数が減っているのか、捕獲者の減少によるものか。  
農都創造部 イノシシやシカの生息密度が減少し、狩猟に出てもイノシシやシカに出くわす機会が少ないとの報告を受けている。  
國里委員 生物多様性推進事業に関し、ホームページの開設取りやめとの説明であったが、どのような内容か。  
農都創造部 当初予算では業者発注の予定であったが、職員による直営で実施できる見込みになった。  
國里委員 森林整備地域活動支援事業に関し、取りやめた理由は。  
農都創造部 事業の要件が厳しいことが分かり、それをクリアすることが難しくなり、取りやめたいとの森林組合から申し出があった。  
國里委員 治山林道事業に関し、減額の理由は。  
農都創造部 林道の舗装について当初で予算が付いたことを藤坂地区には連絡していたが、実施されなかった。  
渡辺委員 県単独補助治山事業に関し、事業費の減額が多くあるが、地元分担金が課題になっていないか。  
農都創造部 減額が多いのは、地元分担金が課題ではなく、設計額で予算計上していることがあり、施工していく中で不要なものを省くなどで残額が重なって

いる。

吉田副座長 林道施設長寿命化対策事業に関し、事業の詳細を説明願いたい。

農都創造部 林道に位置しているコンクリート製や鉄製の橋梁の長寿命化を図るため、破損箇所や老朽箇所を調査・積算し、中長期の修繕計画をたてるものである。

### 【主な説明】

農都創造部より説明

### 【主な質疑】

渡辺委員 観光費の景観まちづくり刷新モデル事業に関し、大正ロマン館のウッドデッキは、今回の補正で修理するのか。

農都創造部 今回の補正でやりなおすのではなく、ウッドデッキの修繕は当初予算で措置していた。今回の補正は、トイレ及び中庭の修景分である。

大上座長 事業に中庭のウッドデッキはなかったのか。

農都創造部 従前からあった。

大上座長 現況が痛んでいるので修繕するのか。

農都創造部 そのとおりである。

園田委員 トイレ整備については、何方所作するのか。

農都創造部 女性用トイレにおいては、洋式2カ所、手洗いが2カ所である。男性用トイレは、小便器が2基、洋式トイレが1カ所、手洗いが2カ所である。

園田委員 店内にあったトイレが授乳室の関係で使えなくなったが、その関係もあるのか。また、24時間利用できるトイレを考えているのか。さらに、今あるトイレ利用の頻度、観光客の多い時期などを考慮して計画したのか。

農都創造部 観光客が増加し、施設が休みの場合でも使えるようなトイレが必要である。青山歴史村もトイレを整備しているが、休館日は利用できないため、三の丸広場まで行かなければならない。ロマン館の休館日であっても、いつでも使用できるように考えた。もちろん、開いている時も使用してもらってよい。

園田委員 トイレが中の方にあると思うが、24時間対応で夜間の安全面も考慮する必要がある。

農都創造部 景観刷新事業で、市道大手線からの動線や誘導を考えた。もちろん、安全面も考慮していく。

足立委員 トイレの設計は終了しているのか。

農都創造部 トイレは11月に実施設計を終了し、管財契約課で精査してもらったとこ



ろ、高額になったため、設計をし直し、今回補正予算が認められれば入札する。

足立委員 トイレと中庭については、別事業なのか。

農都創造部 国交省には、広場の整備としているので一括の計画である。ウッドデッキは、建物に付帯した施設であるので別事業である。もう着工しており、桜の季節までには間に合うように施工している。

足立委員 国の補助率は高いのか。

農都創造部 トイレも景観刷新事業で補助率は1/2である。

足立委員 トイレの隣にトイレができるのは、違和感を覚える。トイレが近すぎるのではないかと。24時間対応を考えると、三の丸まで行かないとトイレがないという現状も理解できるが、もったいないのではないかと。完成しても、「なんで、こんな隣に作ったのか？」と言われかねない。もしもトイレ整備工事を実施しないとすれば、どういう弊害があるのか。

農都創造部 計画している場所がベストなのか、観光協会北側スペースなども検討したが、大正ロマン館の中庭整備で国交省と協議していた。6月補正で承認いただいたもので、今さら中止するのは、国交省としても理解してくれない。

渡辺委員 中庭の修景はロマン館北側からの動線を作るとのことか。

農都創造部 そのとおり。新たな動線が生まれるので、大正ロマン館の集客にも資すると考える。

渡辺委員 中庭に人の流れを生み出すのはいいが、あの中には喫煙スペースがあり、愛煙家にとっては喫煙できるスペースである。

農都創造部 指定管理者であるアクトと中庭の灰皿について検討していく。

渡辺委員 喫煙スペースの確保を検討いただきたい。

大上座長 作成される紙袋であるが、単価が200円程度になるのではないかと。長く利用してもらえるようにしてほしい。例えば愛南町の袋などは、使い勝手がよく長く利用している。

## ■議員協議

(意見なし)

議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)

議案第29号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)

議案第30号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)

議案第34号 平成30年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第5号)

議案第 35 号 平成 30 年度篠山市水道事業会計補正予算（第 4 号）  
（部長・市長への確認質問なし）

■意向確認

議案第 28 号 平成 30 年度篠山市一般会計補正予算（第 9 号）  
議案第 29 号 平成 30 年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）  
議案第 30 号 平成 30 年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）  
議案第 34 号 平成 30 年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第 5 号）  
議案第 35 号 平成 30 年度篠山市水道事業会計補正予算（第 4 号）  
（全員賛成）

大上座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行  
いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

分科会選任委員（補足答弁者） 渡辺委員を選任

分科会閉会 14：35